うへ午餐の御陪食を開ふ

の付けられ、ついで個人間にお は立十分機能制において原制作 の下に 天皇後下に職見

張特派大使

19、イナ四日門日に鎌倉、崎九の米間をなした、一行は開発のの数に応見を正して間に原稿館の数とでのを正して間に原稿館の数とでいる。 行け 原が関 かいました。 一行は 原が関 がいました。 一行は 原が の を でいました。 一行は 原が の を でいました。

日間が成あらせられた。「いて是言語下に関係を脳はり。「自治な苦」大規語観下側で、健康では自動を出せない。日間が成あらせられた。「いて是言語下に関係を脳はり。「自治な苦」大規語観下側で、健康できては同意と思せない。

酷熱と闘ふ甘時間

見敵必ず撃沈だ

潜む潜水艦 血の敢闘談

理を施したが苦しくてたよらないことのである。
の話ななないととなって来た、直ちに應急修け、一刻呼吸が困難となつて来た、直ちに應急修け、整体になないとなっ、下で、直ちに應急修け、といっても歌中の生活である。

大戦果の陰にこの勞苦

「曜千順年に方りわが朝野に一大便に同取され条内。午町十一年を完まる」置き通りでは配酬一部大臣は下郷的十六名は年駐日

水戸内村、自認時間はその側側、外級航天医以下出近を行されて緩の関節域を叩け、て十四日門間に近を行されて緩の関節域を叩け、て十四日門間に

條用、 聚剂用、 路宫相、

賜餐の御沙汰

語でドラス (取事) 茶屋によれ

シチックが増工組に十三日が動「内の耐力は発表されてらないが、「全層側」だので、この依事を認む、概念回路を開発する機能と版しら問由のパッキッガムテンド・カー・名が電視を育った。右側側の 簡単大記載となり 医原療は意識に 西オーヒン・ックと曹原に着職のドンドラス(日本) 茶箱によれ、「た砂板着のうち人名ほかご。11 の機能する戦闘者にも理論に 西オーヒン・ックと曹原に着職のリスポン十二日同国「ロイター」専門が郊後、微説の警告院と解決。戦闘時も戦闘者には人して来ただ 「べい印度報刊令員は、女子ベクリスポン十二日同国「ロイター」専門が郊後、微説の警告院と解決。戦闘時に別人して来ただ 「べい印度報刊令員は、女子ベクリスポン十二日同国「ロイター」専門が郊後、

マドラス紡績工場に

英近東軍一部 を印度増兵か

暴動事件勃發

警官隊と勞務者大亂鬪

に関する解説増大にかんがみウエ

トレスボン土! 白角圏 ルコーベルが強調 ルが強調

新に失敗して秦氏東司令国に左右

間に亘り頑强な抵抗を傾けたゝめイギリス軍側に戦死八名、負傷十餘名を出したと、負傷者十四名が虐殺された。なは塞動住民總數は六十名に 達しこれによつて数時に、自動は國域幾官縁より成るイギリス政府軍とクニザワ 住民との衝突でこの衝突によつて、これで同地住民の叛亂勃發、鎮壓せんとしたイギリス 軍と戦闘を 交へ イギリス 軍は死者五上海特電(十四日登) 印度ペショワル十三日發アバス電によれば印度西北國境クニザワにお上海特電(十四日登) 印度ペショワル十三日發アバス電によれば印度西北國境クニザワにお

印度に反英熱澎湃

突出は既に砂碗系に若七の衝かってるかどうか、塩台によっては

/ニザワで住民叛亂

英軍に多數の死傷者

手段を盛して掛つたのである。 前した印度の自治解学院が一片 は能大戦において既に永遠がい は能大戦において既に永遠がい の兵者軍として終日してんだだ戦の梭頭地、東陸における唯一

何なる方面に進むかも知れぬと

ってするも既に失撃したといよってする大英帝國の威遣はこれを以 節編は他でも数人の日産に成及

田世のために帝國と共に獲記せ

て厭かなる感である。年頃が歌

味方を射つ高射砲

チリ

寧月

んことを受しや切である。 **위總督、閑院**

濠印に最後的警告

画相演說 雅

で異常な關心 源よ熟慮せよ 東戦は発れず 東戦は発れず

濠軍の損害約二萬 マレー、シンガポール戦

その他を記道道すべる機能国家

びにシンガボールの 関する単述 を計一風八千世 一名 一和後籍 と十世線における点 一、 占近地における地域別集に引 と十世線における点 一、 占近地における地域別集に引 を対し、 古地域籍

翼賛政治體 は統合信息が構 洋関係が両隣の統合同盟方面民族対策

一、倒方進出邦人の連成 ●第一次 関方勝市民政策の樹立 四、引張け邦人の復興機能等三、職所対策

制協議會

○高書において新な殿はか 四、南方殿の南部の指導方面、窓成については去る十一日 □、南方院副附続に割する事間をおりる原幹的教徒通います。 東方における原幹的教徒通路は、 関方における原幹的教徒通い。 東方院副附続に関する事項をおり、 地域別者来も異ない。 びに顕洲において得たる知動原取以上の諸項目につき多年が地なら

東京芝浦領氣株式會社

南總督招待

り承認を求めることになった。

トリヰ濃縮小む は榮養の補給にずるに強い體力 つて創られ ð 小粒肝 A D 劑 油

警察部長會議終る

「東京東西」全國教育が支援が日 他など取寄方の件等で開かれば田地方の最上の観測 を明かあり東京教育を書きて、同小学で開かれば田地方の最上の観測に、一部「十分より大な学者教育」と、「日本学者教育教育」

■に乗るれた観点をは、 急速機能、 艦はあれた。 急速機能、 艦は腰部のうちに 刻々敵に近接して行つた、 郵はわれた。 最近機能、 艦は腰部のうちに 列々敵に近接して行つた。 郵はわれた。 東に

原版が伴かび上った、財一版その無殿が大きくの最に関東日間を

中の日の日か十八海火米城田の十

駅の豚に水中海く着って西南太平洋全水域はもちろん遠く米本土ガ

戦をやって来たので買敬に富っても少い

るので曖昧後の労苦は一方でない、われくくは常に曹敬司等の疑則

と意味して苦ぬさればならない、藤上に伊び上るのは使用に限られ、張り切る實戦 繁悲の数据な結婚では歌ははらん

朝鮮中央協會 を開き、 を開き、 を関する。 をした。 ヴイタミンADの缺乏のなくなる虚弱體質は一寸した暑さにも元氣 粒粒 七四八〇

兵器へ電力を 約した電力が弾丸になり、戦車を造

マワダ支配

高射砲發射事件はニューヨークとブルツクリン・合部は十三日次のごとく事件の質相を發表したーク市民を驚かした事件が勃發は一時は全市をしかいのに突如高射砲が鳴り出したので、すはれないのに突如高射砲が鳴り出したので、すは ポートモレスビーを 荒鷲またも爆撃 プは敵機ニュ大騒動 一般はイースト河に落下した模様だ。 たゞ残つた一弾がリックリンを距てたイースト河附近の 高射砲が突如 市をあげての大騒ぎとなつたが 右に翩し米軍すは敵機の奇襲とばかり戦々兢々たるニユー

教院立案語言は

民族の東京清和域におけ 国際を必要とする場

四。日本人口政策と配分人口との四。日本人口政策と配分人口との

お宅で節

各課調査研 し新弥省本来の逆略を 世界がでに従来財用 究 立案項目 メキノ 落すと胃腸が 治療上よりの適應症 一、阿楞によらず病気を根本から治すことが治病の鬼族です。 は鬼を落すことは千古の音より治清保健の秘訣とされてる 使ったその目から、これは効くぞとスグ物るのが範囲特許 を **火夫になる** 文献進呈(京四公照人等中540)

剛山市から北へ五里、中國山脈 叭卒片山兵曹長 兒嶋高德木口喇 ・

幼にして忠君の道

おてき・きづ

和龍支店開店披露和和龍支店開店技工工作。田々格別ノ御愛廟ラ蒙り奉深謝候商者弊行儀令般問何卒倍舊メ御愛顧御引出取扱可申上候間何卒倍舊メ御愛顧御引出即投可申上候間何卒倍舊メ御愛顧御引出即投可申上候間何卒倍舊人御愛顧り開店ノコトーで、一支店の設定シードの一般銀行業務構合の機可能がある。

中松静事務所

意匠 商標 實用新案

京 開 三 明八十時 四 間 四 明八十時 四 間 四 明八十時

所主中松盛雄 鬼房 (1九日)

公立高等女學

昭和二年 三 月 関語九年 三 月

今年も興農へ驀ら

京城三城通り皇太社、別代文化版 別所では十四日午後三時から京城

藝術に結ぶ日華

楚漢傳、京城で公演

皇學宣揚祭

神宮大前で五穀豊穣祈年祭

の役に関係を附も添かれ当しい場 ・ 一里のととろにあり、過ぐる円滑 ・ 十里のととろにあり、過ぐる円滑 ・ 一里のととろにあり、過ぐる円滑

精國の戰友と對面

半島から初の試み

先勳翁も

藥よりも食餌

城大に榮養室を新設

んひよつこり

雨も物かは、大東亞展賑ふ

時計の修理は

本世寄記献金

郷驗視緣





【總計】金九十萬六千八百六十四圓六十二錢也

700 門工 製機 作械 所

バンドンその後の表情

住民も蘭人を嘲笑

的を紹み田したが、金銭版の特別合せて十二箇時間の

恨に飛つたりまた飾りたり、

十四日午申十一時十五分批かられ一幕五子リットルの水気の防空監視哨を駆かしたがら

昭和工科學校學

北鮮製紙化學工業株式食祉七年三月

/第十四回是时休天间度577日近年3名美丽

東洋工科學院生募集

南京城工

可服を表表の必然業・ノーシン・

院生徒募集

中华中學中學 茶菜詳 石間細





低温器理 操作商易 耐飽耐久 遊彩節頭 丸見扇商店理化 工業部

重慶軍に厭戦氣分漲る

海軍から威謝状

落下傘の研究、生産に 藤倉航空工業の貢献

首府メダンに営無血進駐

議現地で打合會





米、敗戦に苦悶

院の統帥系統を整備

は作戦はかりでな

館いニキビ顔や脂

内地域米質収減がに減し、

7年石の訪問が無供に関しる参考へるがいよ。

本分を盡せ

ひます。 もどう ינע ځ

素肌美だけ

